

観光 ハボロネ 平成25年度3次隊

JOCV 平成25年度3次隊、諸石翔吾です。観光という、青年海外協力隊の中ではあまりメジャーではない職種ですが、南部アフリカにあるボツワナの首都ハボロネで、今年2014年1月から2年間の任期でボランティア活動を行っています。発展途上国における観光開発と考えるとイメージが浮かびやすいかと思います。私の活動する要請内容は、野鳥環境保全 NGO であるバードライフボツワナにおいて野鳥観光プロジェクトを立ち上げるというものです。なかなか思う通りに行かない事が多く苦勞も絶えないですが、それでも周りのスタッフと協力しながら日々活動を行っています。

簡単に自己紹介をすると、私は日本の旅行会社で営業の職に就いており、企画から旅行団体の添乗までに関わる業務に携わってきました。これら日本の旅行業界での経験を、以前から興味があった国際協力の分野で活かしてみたいと考え JICA 青年海外協力隊の観光の職種に応募し、ここボツワナでの活動に至ります。

・活動について



←観光の職種ですが、恐らく一般的なイメージに反して多くの時間を事務所内の作業に費やす事が多いです。

協力隊員の多くがそうであるように私自身も民間企業の出身なので、配属当初は途上国支援や NGO の活動に馴染めない・勝手が分らず空回りする時期もありましたが、赴任後半年を過ぎた現在ではそういった環境の違いを楽しむ余裕も生まれ、大分落ち着いてきたように思います。

私の配属先は INGO バードライフ・インターナショナルのパートナー NGO で、多くの有力なドナーの支援を受ける、ボツワナ国内外に多くのコネクションを持つ情報の出入りの多い組織であり、また当然ですが利益を追求する多くの民間企業とは違い組織の目指す物も大きく異なるので、毎日様々な刺激を受けて業務に当たっています。ここでは商品企画を始めとする日本での経験を活かした活動や、プロジェクトに関わる外部団体との連携作業を行っています。ただ環境が発展途上国と言う事もあってか、あらゆる情報が未整備の中手探りでプロジェクトを進めている状態なので、その点に関してはまだまだこれからも苦勞すると思います。また当然文化の違いも大きく、活動する中でも障害を感じる場面も多々ありますが、例えば約束の時間を大幅に遅れたり、割と行き当たりばったりのスケジュール管理等は笑って許せる度量も身に付いた気がします。

・現地での生活

私の任地ハボロネは、途上国とはいえ国の首都ということもあり比較的人口も多く物も豊かで、日本程ではないにしてもそれなりに不自由なく生活できる環境です。参考情報として、2011年のボツワナの人口が約200万人で私の任地である首都ハボロネが約20万人強、1人当たりのGDPは\$15,000を超え、隣国南アフリカの\$12,000をも超える比較的裕福な国と言えます。(ただし貧富の差が大きく、富裕層が増えているのに対し分母である国の人口が圧倒的に違うため、数字では測れない側面があることは御留意下さい。)私自身が直接の恩恵を受けるわけではありませんが、主な産業である鉱物資源を上手く活用した裕福な財源を元に社会保障や政府が

らの補助も充実しています。私から見たボツワナ全体の印象として、心に余裕があり、あまりガツガツしている人は少ない気がします。ちなみに日本の国土が約 38 万 km² に対し、ボツワナは約 60 万 km²、人口密度でいえば 1km² あたり日本には 300 人以上いるに対しボツワナは 3 人。個人的にはこの国の広く空間に余裕のある感じや、全体的にゆったりした雰囲気は居心地が良いです。

私生活も良き隣人や友人に恵まれ、ほぼ順調に過ごしています。友人知人のバックグラウンドも非常に様々で、例えば私の活動の関係者は南アフリカや欧米出身の人も多く、プライベートの友人や知人は更に人種の幅も広がり、現地の方以外にも様々な国や地域から来られた方と知り合う機会があります。ボツワナの方は、少なくとも私の周りの人は人種や文化の多様性というものに対して寛容である印象を受けました。ただやはり我々のような環太平洋地域のアジア人は良くも悪くも目立つようです。（こちらでは中国人が多いですが、私の属するグループや行く先々では公私ともにアジア人は私一人という場合がほとんどです。私の主な活動の場であるアフリカの環境保全や観光の分野ではアジア人の存在感はかなり低いです。） 相手の方から声をかけられる事が多いので、これが良い方に働くケースであれば知り合いは増えますが、アジア人に好意的でない少数の人からは一方的な対応をされることもあります。現地に根深いルーツを持つ黒人の方からは、やはりどうしても外国人として壁を隔てたような扱いを受けるのは避けられません。今のところひどく人種差別を意識するようなケースは私の身には起こっていませんが、極力トラブルに巻き込まれないよう注意して生活しています。



↑ 任地ハボロネにあるショッピングモールの様子。品物も豊富で、週末は人も多いです。



↑ 配属先が実施する月例のバードウォッチングイベント。毎回幅広い年齢層・人種の方が参加されます。

私が赴任してから間もなく 1 年になります。公私共に様々な場面で抱える問題の多くは解決されていませんが、解決するのではなく受け入れることで通過してきた場面も多々ありました。予想できない、自分の今までの常識からは想像もつかないハプニングも多いですが、そういった事にもあまり驚かなくなりつつある所に人間の慣れの恐ろしさを感じます。せっかく頂いた貴重な体験をする機会なので、悔いのないよう、色々な事に挑戦し、多くの常識外れの事にも触れて今後も活動していきたいです。毎日色々な事が起こりますが、残りの任期も安全管理を徹底し、繰り返しになりますがトラブルに巻き込まれることのないよう無事に 2 年間の任期を終えて帰りたいと思います。